

課題名	35. キウイフルーツの花粉の多量採集法
成果の要約	<p>大果生産には人工授粉が不可欠である。そこで、授粉に使用する花粉の適正な採取時期を明らかにした。マチュアの花を供試し、蕾の状態の花（ステージⅠ）、わずかに開花した花（ステージⅡ）、花弁が半分開いた花（ステージⅢ）、完全に開花した花（ステージⅣ）の4段階に分類し、それぞれの花重、獲得される生薬量、粗花粉重、純花粉重及び花粉発芽率について調査した。</p> <p>(1) 100花当りの花蕾重はステージⅣの花が重いものの、獲得される生薬粗花粉、純花粉重はいずれもステージⅠの花が最も多かった。</p> <p>(2) 花粉の発芽率はステージⅠの花が悪く、他のステージに差はみられなかった。</p> <p>(3) これらのことから優良な花粉を多く獲得するにはわずかに開花した花（ステージⅡ）の花を採取するのがよい。</p>
成績概要	<div data-bbox="241 875 1522 1202" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="294 1246 1407 1305">ステージⅠ ステージⅡ ステージⅢ ステージⅣ</p> <p data-bbox="336 1350 787 1394">図1 雌花の開花ステージの分類</p>

表1 開花ステージ別の獲得花粉量と発芽率

ステージ	花重	生葯重	粗花粉重	準花粉重	花粉発芽率
	g	g	mg	mg	%
I	93.5	15.3	3722	697	70.9
II	99.1	13.4	3285	556	86.4
III	96.6	10.1	3363	549	85.8
IV	105.2	9.0	3222	483	84.6

成

績

概

要

(果樹試験場)

普及上の留意点